

【口頭試験の注意点】

九州技術士受験研究会
赤石（総合技監、衛生、建設）

過去に受験した経験（3部門）より以下の注意点を示す。

1. 移動は前日に
前泊をすること。以前にLCCで成田に行こうとして、まさかの搭乗直前欠航。
慌てて、当日行けるところまで（新大阪）行った。
東京は事故遅れが多いため、会場から1時間以内箇所に宿をとることが望ましい。
2. 建物へは1時間前に到着すること
事前に場所を携帯マップなどで確認しておくこと。会場がフォーラムエイトなら結構分かりにくいので（路地裏ではないが、同じような建物が多いので）。
3. 願書より創意工夫を抜き出しておくこと
技術士は創意工夫が大事。どんな大きなプロジェクトでもプロトコールとおりにやる人は技術士ではない。逆に小さなプロジェクトでも一見分からない創意工夫でも抽出できることが大事である。
例：河川水質調査で5地点やるように特記仕様書に明記してある。しかし、水質解析には10地点のデータが必要である。手出しして5地点追加するのは簡単であるが、5地点のデータと現地機器測定データ（電気伝導度など）との相関を把握し、追加地点は分析費用がかからない電気伝導度のみとし、相関より分析項目値を類推する。
4. 技術士法は一読すること
3義務2責務は必須（義務：信用失墜行為の禁止、秘密保持、名称表示 責務：公益確保、資質向上）。以前は聞かれたら合格と言われていたが、現在ではそうでもないようである。これに答えられなかったら失格も覚悟すべきであるほど、重要。
その中で自分が一番心がけているものくらいは即答できるようにする。
5. 技術士会のプロフェッション宣言は一読すること
概要くらいは把握し、実践していることをアピールすること。あなたが既に技術士に相応しい内容を体現していることを面接官が把握できること。

6. 転職した人はその理由をいえること

例として、私は、現在の仕事や部門は水関係であるが、元々の専門はバイオテクノロジーである。阪神大震災をきっかけに水の大事さを痛感し、以降転職するにしても水を軸に行っている。転職を行ったことにより、河川、排水処理、使用水再利用など水の幅が広がった。と前向きな表現とすること。

7. 自分の地元の大きな出来事（災害など）はいえること*建設系部門

九州はこここのところ、水害が多く、日経コンストラクションにも特集が組まれている。当然、河川治水対策もだが、かけ崩れにより道路寸断、それは土質、地質の軟弱性に由来するとか、環境への影響があった、など把握すること。

8. 自分の地元と部門科目が一致するできごとを用意すること

上記のとおり、九州でのできごとを自分の部門、科目からみて、自分ならこうする、という対策を考えておくこと。

9. 面接官と議論しないこと

あなたを技術士として相応しいかをみる試験で、時々圧迫手法を使う人もいるが、議論する時間はないはず。過去に議論して失格になった人もいる。

分からないことがあれば、「すみません、勉強して自分なりの回答を出せるようにします」と逃げるのも一手。

10. 服装は華美にしないこと。普通の打ち合わせできるようなものにすること。

服装が華美すぎて失格になった人がいる。

11. 受付で配られる注意事項は熟読すること。

これ重要！面接時に受験番号を言うことが明記してある。私は総合技術監理部門受験時に失念して、念のため最後見直して、ヤバイヤバイと焦った記憶あり。

12. トイレは待機室にいる間にすませておくこと。

トイレは結構分かりにくい場所にある。

13. カートでコロコロするような荷物で試験を受けないこと。

面接が次の人は面接室外の椅子に座ることになっているが、カートでウロウロして荷物の扱いに困っていた受験生がいた。

14. 面接はハキハキと。ゴモゴモでは失格する。
マスクについては面接官の指示に従うこと。
15. なるほどという単語は極力使わない。
なるほど、了解は目上に人には使わない単語である。理解できました、承知しました、が正しい。
16. 高い確率で、最初は「どこから来ましたか」と聞かれる。
ここから、上記7, 8のように地元の出来事を挙げて、自分の専門に結び付けることで、面接官を自分のフィールドに引き込む。私は1回目の衛生工学の時、ベトナムのハノイです（出張途中から自腹で一時帰国したため）、といい、ここから水質について自分のフィールドに持って行った。
九州なら、「水害で〇〇が起きた九州は福岡です」という風に。
17. 関連資格を持っているか、持っていない場合はその理由を確認しておくこと。
以前環境関係で環境計量士を持っているかと聞かれた人もいる。
建設関係なら土木施工管理技士の有無は聞かれるかも。1級でない人はその理由も考えておく。普通は1級をとってからになるため。
18. 待機室はすごく緊張する。
誰一人声を発する者はいない。ここから、面接直前の椅子（上述）に移動するが、移動した後は緊張感MAX。でも周りに人がいないので、ある面気が楽。近くに別の面接室があり、同じように座っている人がいる。
19. 病気にならない。
当然。自己管理ができない人は技術士に相応しくない。
20. 時間厳守
遅刻は論外。列車事故でも認められない。バイパス路線があるかどうかは自己管理の範疇に入る。赤石の過去宿泊場所は、
①衛生：渋谷のゲーム喫茶で仮眠（ハノイからの便が朝一着だったため）
②建設：上記参照。新大阪駅前のビジネスホテル
③総監：川崎市内のビジネスホテル。駅近く。（1時間以内ではなかった×ですね）

もうあと一歩です。吉報を期待しています。

以上